

パモジャ **PAMOJA**



第25号

青年海外協力隊 巣守 世那
2026年 1月20日発行

Heri ya mwaka mpya!

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

Heri ya mwaka mpya(ヘリ ヤ ムワカ ムピヤ)とは、スワヒリ語で「明けましておめでとう。」という意味です。

2026年が始まり、私はタンザニアに来て1年が経ち、活動も折り返しとなりました。タンザニアの小学校は、1月から新学年になったので気持ちを新たにみんなで頑張っています。

タンザニアではお正月はありませんが、多くのタンザニア人は、クリスマスから1月4日ころまで、自分の生まれ故郷に帰り、家族と過ごすそうです。驚いたのは、1月の半ば(15日)でも、まだクリスマスの飾りつけや音楽が流れているところがあることです。タンザニアの友達に聞いたところ、「1月もまだまだクリスマスみたいなものだよ。」と言われました。タンザニアの pole pole(ポレポレ:ゆっくり)な文化を感じました。年越しそばやおせちを食べない、温かいところで過ごすクリスマスとお正月は、本当に年越したのかな?というような不思議な感じです。

そして、年末年始には家族がタンザニアに来てくれました。タンザニアのいろいろな場所と一緒にまわることができて、1年ぶりに会うことができて、幸せな時間を過ごすことができました。



1月1日初日の出

ザンジバル島

タンザニアは、タンザニア本土とザンジバル島からなっています。青色には、こんなにも種類があったのかと思うくらい海の色が美しくて、色々な海の姿を見ることができます。世界遺産になっているストーンタウンでは、迷路のような路地を歩きながら歴史を感じることができます。



イルカと泳ぐこともできました!